

令和5年度 第2回習志野市スポーツ推進審議会 会議録

1 開催日時 令和5年11月8日(水)午後4時00分～午後5時00分

2 開催場所 市庁舎5階 委員会室

3 出席者

【会長】習志野市スポーツ推進委員連絡協議会 副会長 阿川 幸平

【副会長】習志野市スポーツ協会 副理事長 山口 一

【委員】習志野市医師会 医師 大沢 亜紀

日本 大学 教授 菊地 俊紀

千葉工業大学 教授 引原 有輝

東邦大学 准教授 澁川 賢一

習志野市スポーツ協会 理事 吉見 知子

順天堂大学 准教授 河村 剛光

習志野市政策経営部 部長 竹田 佳司

事務局

生涯学習部 部長 片岡 利江

生涯学習部 次長 芹澤 佐知子

生涯スポーツ課 課長 三橋 智

生涯学習部 主幹 高田 賢

生涯スポーツ課 副主査 中村 吉宏

生涯スポーツ課 主任主事 長束 友希央

生涯スポーツ課 主任主事 森田 結芽

生涯スポーツ課 主事 小林 飛大

生涯スポーツ課 主事補 宮崎 紘

報告

(1)スポーツ9施設の次期指定管理者候補者の選定について

協議

・スポーツ・運動に関する市民アンケートの内容について

会議資料

(1)指定管理者候補者の選定について(報告)

(2)アンケート資料(協議)

<議事内容>

第1. 会議録作成等

会議録については、要点筆記とし、会議名、会議日程、会議場所、出席者氏名、審議事項、会議内容、発言委員名及び所管課名を記載し、非公開の審議事項を除く記録について、市のホームページ及び市のグランドフロアにおいて公開する。

第2. 会議録署名委員の指名

引原委員、澁川委員とする。

第3. 報告(1)スポーツ9施設の次期指定管理者候補者の選定について

【三橋課長】

令和5年9月に「応募者面接」と「選考委員会」を実施し、候補者の選定をした。

本市のスポーツ施設は、現行の指定管理期間が令和5年度末をもって満了するため、令和5年7月3日から令和5年8月17日までの期間で、次期指定管理者の公募を実施したところ、3事業者から応募があった。

3事業者に対し、9月21日開催の「生涯学習部 指定管理者制度 検討委員会」にて事業者面接を実施した。提出された申請書類と評価内容について、9月27日開催の「習志野市教育委員会 指定管理者候補者 選定委員会」で審議した結果、「公益財団法人 習志野市スポーツ振興協会」を選定した。

選定理由は、資料記載のとおり。特に評価が高かった事項は、施設の安心・安全な管理運営に加え、新規の取り組みとして、

- ①指導者を必要とする団体と、指導の場を探している指導者とのマッチング事業
- ②マイナー競技の団体に対し、教室や大会開催の支援をするマイナースポーツ支援事業の項目である。

現在、市内団体の高齢化による大会の開催を課題として抱える団体もあることから、現状を理解した提案だと受け止めた。

③キャッシュレス化への対応

④地元商工会議所等との連携・合同イベントの実施による利用者拡充

の項目については、応募事業者唯一の提案であること、また、担当課として現在の管理運営で不足している項目であると認識しているため、評価した。

これらの提案内容を審査した結果、100点満点中80.3点となり、「ほぼ市が要求するレベル」とする75点を大きく上回る結果となったことから、当該事業者を選定したものである。

今後の予定として、令和5年11月27日から始まる第4回定例会にて議決されると、次期の指定管理者として決定する。その後、年明けに基本協定書の締結、年度協定書の締結を経て、令和6年4月1日から新たな指定管理期間による業務開始を予定している、と説明。

【大沢委員】

他のところは何点だったのか、と質疑。

【三橋】

結果については、ホームページで掲載している。

1社目、株式会社オーエンス 74.9点。

2社目、選定したスポーツ振興協会 80.3点。

3社目、ソルティーク株式会社 75.9点、と回答。

阿川会長が他に質疑なしと認め、報告(1)は終了した。

協議事項(1)スポーツ・運動に関する市民アンケートの内容について

【中村副主査】

令和5年度第1回審議会にて、各委員からの意見を基に、アンケート内容を修正した。協議資料(2)『令和6年度スポーツ・運動に関する市民アンケート案の変更箇所について』、協議資料(1)『令和6年度スポーツ・運動に関する市民アンケート』を確認いただきたい。

1つ目。アンケート表紙の回答方法について、QRコードとWeb回答の情報を追記。

2つ目。3ページ質問6について、回答項目を追加。

3つ目。6ページ質問18について、「~どのようなスポーツのイベントをみたいですか？」へ文言を変更。

4つ目。6ページ質問19は、カッコ内の指示を追加。

5つ目。質問20、2020年東京オリンピック、パラリンピックの観戦について、同競技に対する関心の程度を把握するため、観戦の有無についての問いを追加。

また、全体的な変更点として、生涯スポーツ課で実施する『令和6年度スポーツ・運動に関する市民アンケート』と社会教育課で実施する『習志野市文化振興に関する市民意識調査』を併せて送付・回収を行い、Web回答にも対応させることとした。理由として、令和7年度末で終了となる計画が各部署多数あり、アンケートの対象者を無作為に抽出するため、全体数を減らし、対象が偏らないようにする必要があるためである。

なお、設問番号やページ番号について、変更になる可能性がある、と説明。

【阿川会長】

1ページ目の質問2-5「スポーツや運動をしていない理由は何ですか」の問いに対する選択肢について伺う。

質問2-5に「時間がない」理由として、仕事の都合や、家事、育児など様々な理由があると思うが、その様々な理由を一括りとし、選択肢を設定したと捉えてよいか、と質疑。

【中村副主査】

時間がないという中にも色々な事情があるというのは理解しているが、全てひとまとめとし

て捉えるという理解で良い、と回答。

【河村委員】

アンケートが長くなると回収率が下がると思うが、どちらかだけ答えてもらうことも検討したのか、また、QRコードは本人確認のIDパスワード等チェックが入るような機能があるのか、と質疑。

【中村副主査】

社会教育課の担当者とも、アンケートの項目が増えることが、回答者の負担になることは懸念している。

ご指摘のとおり、半分しか答えない、どちらかの部分しか答えないということもあり得るが、市民からの情報をいただけるだけいただきたいため、半分の回答のみであっても致し方ないと考えている。

QRコードについて、本人確認の対応はしておらず、千葉電子申請サービスを利用して、市民からアンケート等、回答できるページに飛ばす方法で検討している、と回答。

【河村委員】

QRコードについて、一般的な方法であれば問題ない。

アンケートについては、どちらかだけでも返送くださいという文言は記載せず、結果的にどちらかのみでの回答しか得られない可能性がある、という認識でよいか、と発言。

【中村副主査】

よい、と回答

【吉見委員】

対象年齢について伺いたい、と質疑。

【芹澤次長】

19歳以上の市民から3,000名を抽出し、郵送またはQRコードの回答を想定している、と回答。

【吉見委員】

職業の選択は、主な収入源の一つを選択するというので良いか、と質疑。

【三橋課長】

一つを選択していただく方向で考えている、と回答。

【菊地委員】

質問4の質問に対して、興味がないという選択肢がない。

質問6、質問15も同様に、ないという選択肢があった方がよいのではないかと発言。

【中村副主査】

ご指摘のとおり、ないの項目追記を検討する、と回答。

阿川会長が他に質疑なしと認め、協議事項(1)は終了した。

その他

【中村副主査】

第1回スポーツ推進審議会であった事業評価シート、ナンバー16とナンバー34の質問について、担当課からの回答を報告する。

1点目。NO.16子育て支援課の地域子育て支援拠点事業の令和2年度から令和4年度まで実績値0回に対する、決算額の使われ方について質問があった。

回答として、決算額は地域子育て支援拠点事業費であり、内訳はこどもセンター運営費約260万円、(光熱水費、環境整備委託費、警備委託費)、きらっ子ルームやつ業務委託費約1,300万円とのこと。実績値は、年3回計画をしていたイベントすべてが中止となったため0回である。

2点目。NO.34健康支援課の健康づくり推進委員の育成・活動支援について、目標値に対しての支援回数が多く、今後情報修正の可能性はないのか、また目標値を上回った理由について質問があった。

回答として、健康づくり推進委員とメールや電話でのやりとりが増加したこと、アフターコロナの現在、支援状況はコロナ前にほぼ戻っているため、目標値変更なし、と報告。

阿川会長が質疑なしと認めた。

【中村副主査】

次回は令和6年2月7日の予定、と連絡。

阿川会長が他に連絡はないことを確認し、その他は終了した。

【閉会】

阿川会長が令和5年度第2回習志野市スポーツ推進審議会の閉会を宣言。